

12 月度議員懇談会



今年最後の議員懇談会で1年を総括

12月度議員懇談会を12月2日16時より商工会議所ビルにて開催し、議員70名が参加した。

開会にあたり八木会頭から挨拶が行われ、一年の締めくくりにあたり、本年の出来事や事業活動についての振り返りが行われた。

まずは元旦に起きた能登半島地震について触れ、「多くのご協力でいち早く義援金を集められた他、現地への職員派遣などの支援を行うことが出来た。9月には集中豪雨を受け被害が重なったが、今後も引き続きサポートしていきたい」と復興支援への決意を述べた。

3月16日には北陸新幹線の県内開業

が実現し、「開業まで尽力されてきた先人への感謝と共に、次代にどのような繋げていくかの大きな節目となった」と振り返った。加えて、開業前から、長野、群馬、さいたまといった北陸新幹線沿線地域との経済交流を通して、「各地域との結びつきの強化を感じる事が出来た」とし、「新幹線がつながったことで、地理的な距離だけでなく、心理的な距離も非常に近づいたように感じる」と感想を述べた。10月に開催された北陸技術交流テクノフェアにおいても沿線地域からの出席が増加しており、福井県内企業の優れた技術との掛け合わせにより新たな価値創造に期待感を示した。

経営面では、賃上げや価格転嫁対策について、「戦略的に価格転嫁を進めるためには、経営者自身が意識を変え、現在の価値を高める力をつけることが必要だ」とし、福井商工会議所として、経営の方向性を見直すためのサポートに取り組み意欲を示した。また、創業相談における女性相談者が増えていることにも注目し、「この勢いを維持し、創業なら福井と呼ばれるように支援に注力していきたい」と語った。

最後に、「年明け以降も様々な課題や壁に直面することが予想されるが、



開会の挨拶を行う八木会頭

多くの方々の知恵を借り、協力しながら進んでいきたい」と呼びかけた。

その後、報告事項に移り、グローバルビジネス・交流委員会、岩佐大秀委員長よりインド経済視察について、観光・サーブিস部会、開発穀副部長より高崎・長野観光産業視察について、持続可能な社会共創委員会、小川明彦委員長より福井県の幸福度日本一に関する研究結果について、県都みらい創造委員会、梅田憲一委員長より福井アリーナ（仮称）の進捗状況についてそれぞれ報告が行われた。

懇談会の終了後には懇親会が開催され、出席者は今年一年を振り返りながら、活発な情報交換を行った。